



大阪市立十三小学校

令和7年度

# 児童が主体的に学びを創造する

—探究的な学びの視点を取り入れた授業づくり—

---

淀川区教員研究発表会  
令和8年1月14日(水)





# 本校の児童の実態

- 2026年度 創立100周年
- 児童数…151人
  - 課題 相手を受け入れる心 → 話合い活動
- 道徳科の研究(R3～R6)
  - 「自他を大切にする児童の育成」
- 本音で語ることができるようにになった。
- ▲ 話し合うことに楽しさを感じられない児童も一定数残った。



# 本校の児童の実態 (R6 経年調査より)

めあてが示され、自分で目標を立てたか。

学習内容を振り返ることができたか。

話合いで、考えを深めたり、広げたりできたか。

自分で考え、自分から取り組んだか。

自分にあった教え方、教材、学習時間だったか。

この2項目が特に低い。

36.2 38.9 14 9.9

26.1 37 28.2 7.8

31.3 43.9 20.23.

27.7 47.7 17 6.6

37.3 34.8 20.36.7

あ  
て  
は  
ま  
る



あ  
て  
は  
ま  
ら  
な  
い



# 本校の児童の実態 (R6 経年調査より)

32 学習内容を振り返る活動を行っていたか。

41 自分にあった教え方, 教材, 学習時間などになっていたか。

特に, この2項目が大阪市平均より低い



# 「探究的な学び」に着目

- ・ 未来社会を創造する主体としての自覚を育む。
- ・ 学ぶ意義や見通しを明確にもって学習に向かう。
- ・ 児童自らが主体的に学びを創造していく。
- ・ 「自分なりに**問い合わせ立て**, 自分なりの**方法で**,  
**答えにたどり着く**探究する力」を育成する。

## 「探究的な学び」に着目



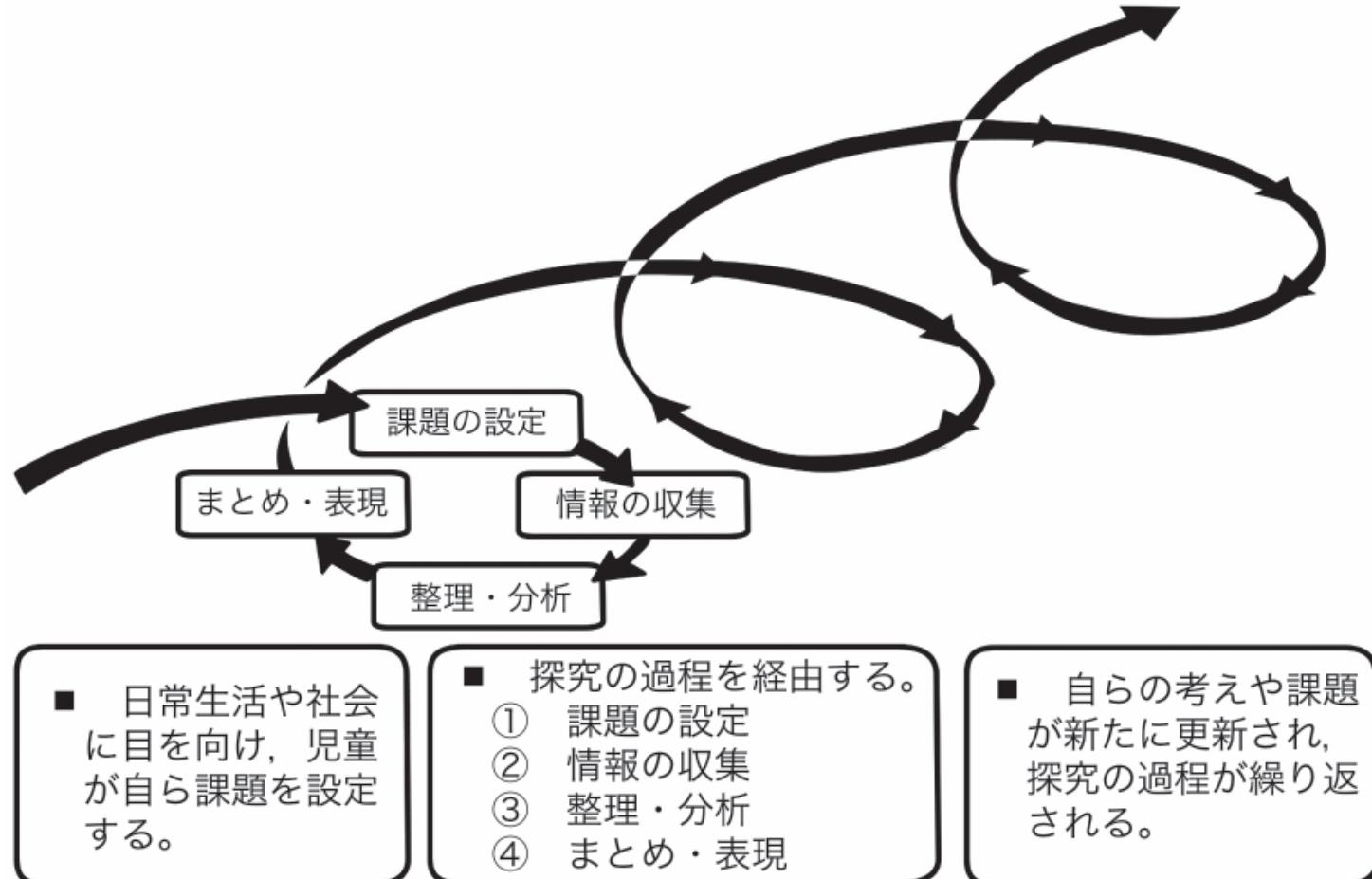
# 「探究的な学び」

- 主体的に取り組んでいる。
- 自ら調べたいことを調べて、まとめている。
- 調べたことや考えたことを活発に発表している。
- 自分で立てた課題を解決している。
- 学習したいことを学習する。

- ▲ どのように指導すればいいのか分からない。
- ▲ 児童が調べる学習を行っていけばいいのだろうか。
- ▲ 学力が身に付くのだろうか。
- ▲ どのようにして評価すればいいのか分からない。

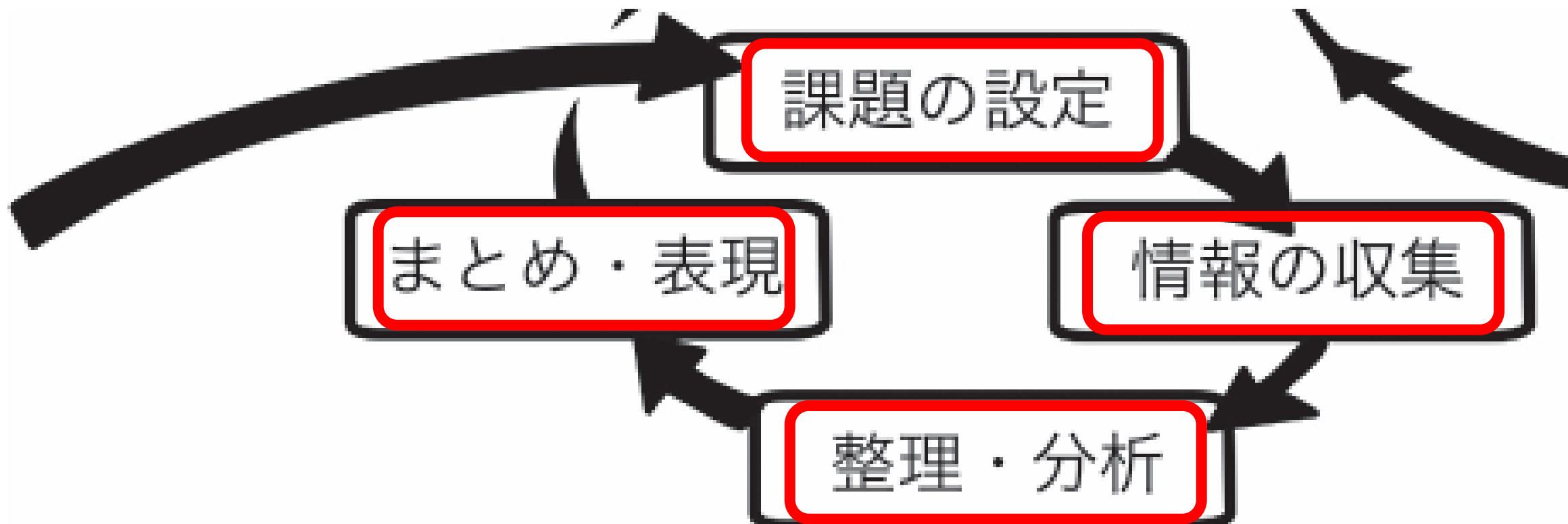


# 探究的な学び(小学校学習指導要領解説「総合的な学習の時間編」より)



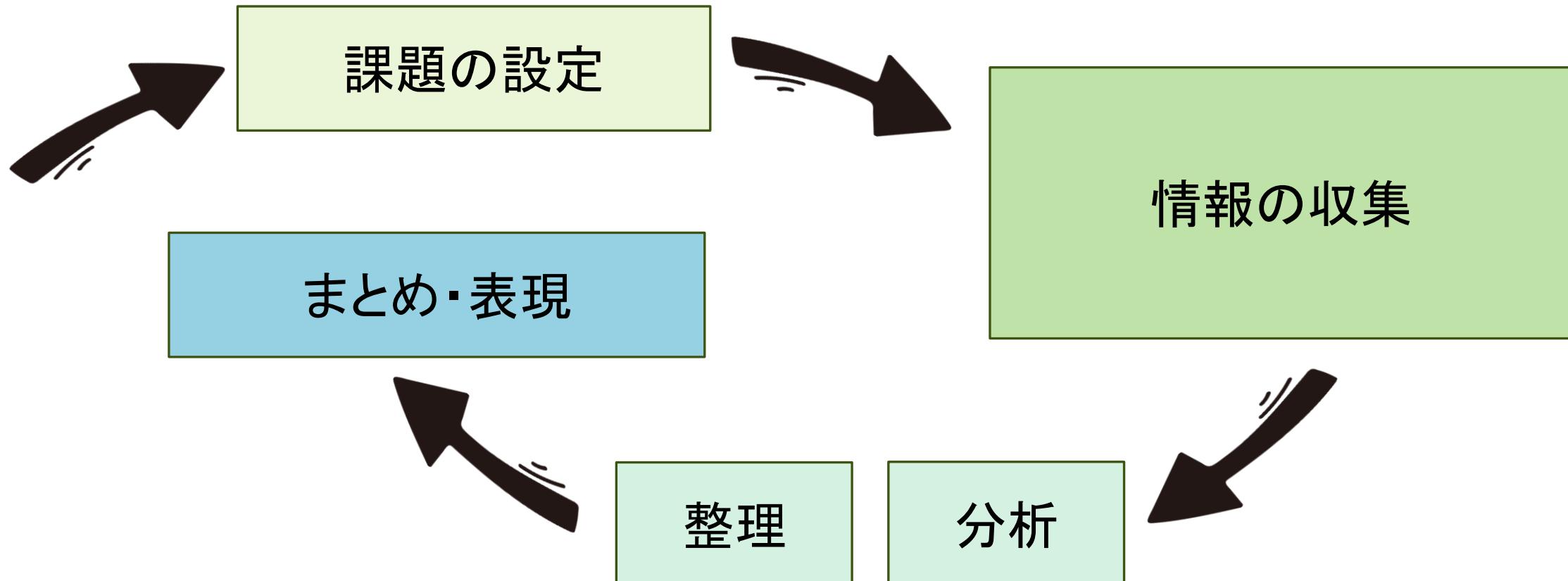


# 探究的な学び(小学校学習指導要領解説「総合的な学習の時間編」より)



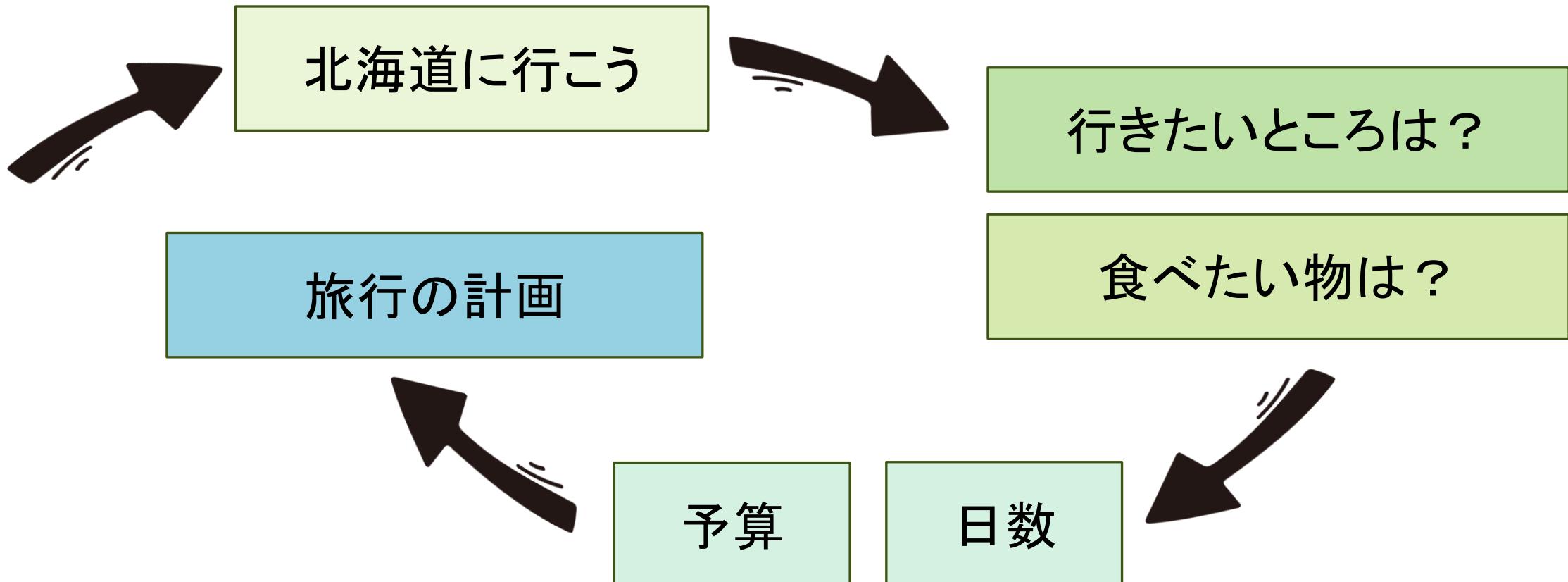


# 探究的な学び(日常生活から)



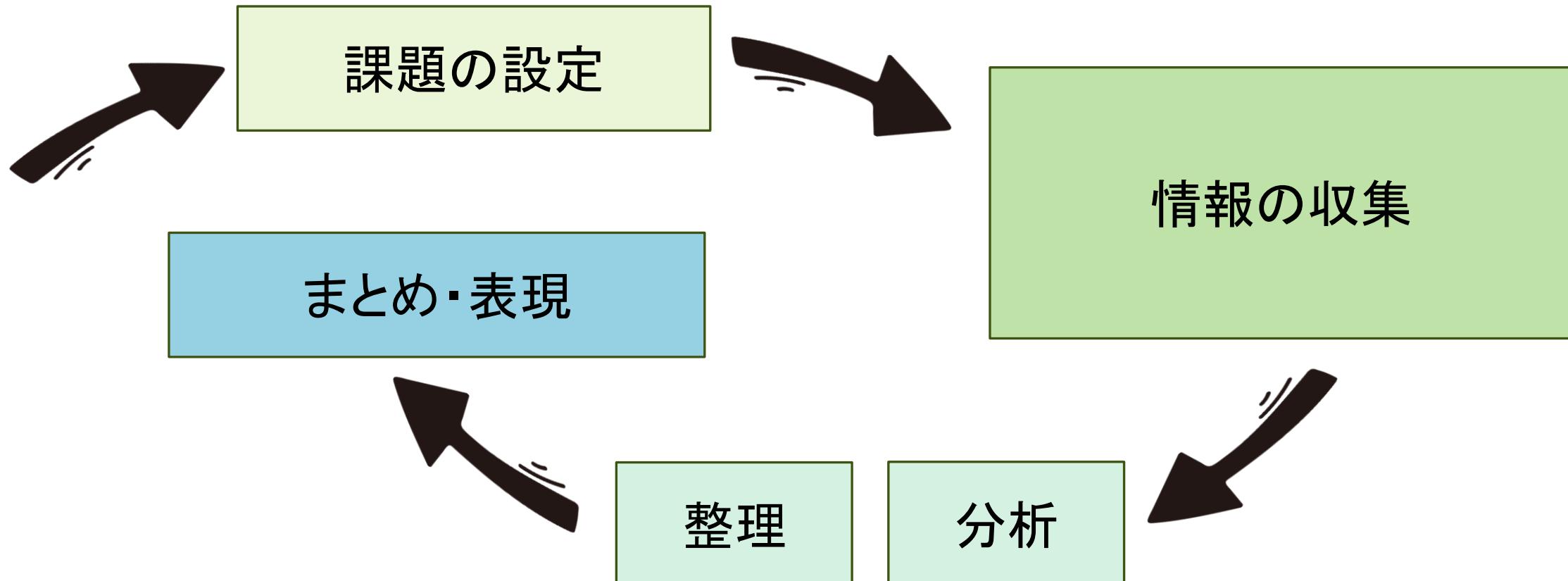


# 探究的な学び(日常生活から)





# 探究的な学び(日常生活から)





# 「探究」に着目する背景

- VUCA
- 情報化や国際化
- 長寿化
- 「学習内容をどのように教えるのか」  
⇒ 「どのようなことが身に付いたのか」



# 研究主題, 及び研究仮説

## 【研究主題】

児童が主体的に学びを創造する  
—探究的な学習の視点を取り入れた授業づくり—

## 【研究仮説】

見付けた課題をよりよく解決していくために, めあてをもって自らが  
主体的に調べて考えたり, 他者と協働して多様な考えを認め合ったりして  
いくことで, 児童は多様な見方で物事の考えを深めることができる。



# 研究主題, 及び研究仮説

## 【研究主題】

児童が主体的に学びを創造する  
—探究的な学習の視点を取り入れた授業づくり—

## 【研究仮説】

見付けた課題をよりよく解決していくために, めあてをもって自らが  
主体的に調べて考えたり, 他者と協働して多様な考えを認め合ったりして  
いくことで, 児童は多様な見方で物事の考えを深めることができる。



# 研究の内容

- (1) 「共同探究者」としての役割
- (2) 探究的な学びを展開する工夫
  - ① カリキュラム・マネジメント
  - ② めあて・振り返りの時間の確保
  - ③ ICTの活用
- (3) 「対話」の機能を活かした授業づくり
- (4) 「話すこと」「聞くこと」についての系統的な指導



# 研究の内容

## (1) 「共同探究者」としての役割

- ・ 伴走者
- ・ ファシリテート
- ・ 認め、励ます
- ・ 変容を見取り、  
学びをサポート



## 研究の内容

(2) 探究的な学びを展開する工夫

- ① カリキュラム・マネジメント
- ② めあて・振り返りの時間の確保
- ③ ICTの活用

- ・ テーマの設定
- ・ 学習計画
- ・ 単元全体を見通す
- ・ 各時間の  
フィードバック



# 研究の内容

- ・ 動作、表情も
- ・ 協働的に
- ・ 多様な見方

- (3) 「対話」の機能を活かした授業づくり
- (4) 「話すこと」「聞くこと」についての系統的な指導

1. はじめに

2. 研究の概要

3. 実践の紹介

4. 研究のまとめ



# 研究の進め方

## (研究グループ)

校長・教頭

対話

100周年

問題解決的に  
学習を進める

児童理解  
(学級経営)

1. はじめに

2. 研究の概要

3. 実践の紹介

4. 研究のまとめ

# 1 対話グループ

探究的な学び      ↔      他者との協働

対話

1. はじめに

2. 研究の概要

3. 実践の紹介

4. 研究のまとめ

# 対話

---

## 「しっかりと聞く、話す」

低学年 【聞くこと】  
【話すこと】



1. はじめに

2. 研究の概要

3. 実践の紹介

4. 研究のまとめ

# 対話

## 単元名

# 十三の「キラキラ」つたえ隊



# 対話

探究的な学習の展開

インタビュー(情報の収集)

十三のキラキラを発信しよう  
(課題の設定)

マップ作り(まとめ・表現)

整理・分析

整理・分析

町探検(情報の収集)

もっとわかり  
やすいものに  
しよう

1. はじめに

2. 研究の概要

3. 実践の紹介

4. 研究のまとめ

# 対話

対話を取り入れた探究の展開

- ・グループ活動
- ・意見や疑問の共有
- ・安心して話合いができる空間づくり



他者との協働につながる

# 対話

---

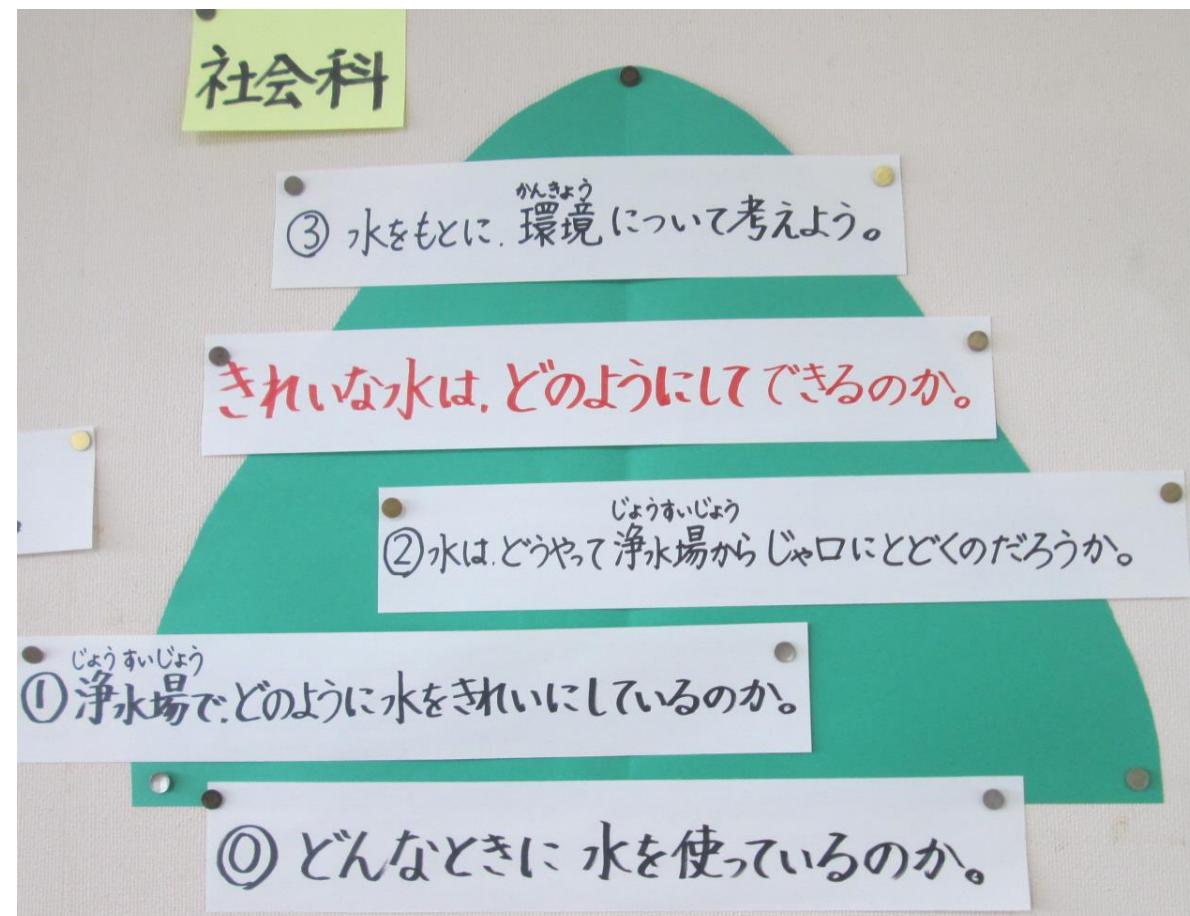
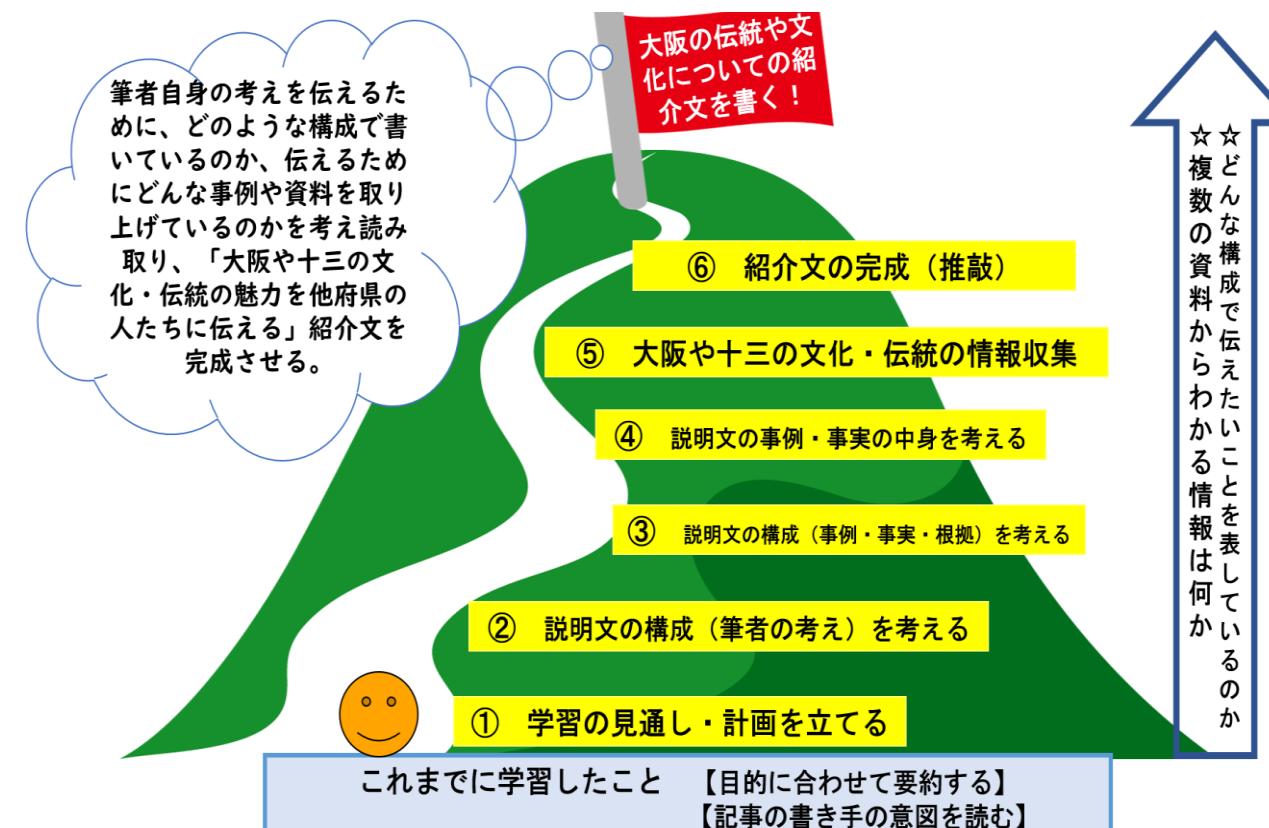
## 【成果】

- ・新しいアイデアが生まれたり、自分の意見を深めることができた。
- ・新たな角度から「十三の町」を見つめることができた。
- ・主体的に活動することができた。

## 【課題】

- ・観点を焦点化して話し合いをする必要があった。

## 2 課題解決的に学習を進めるグループ



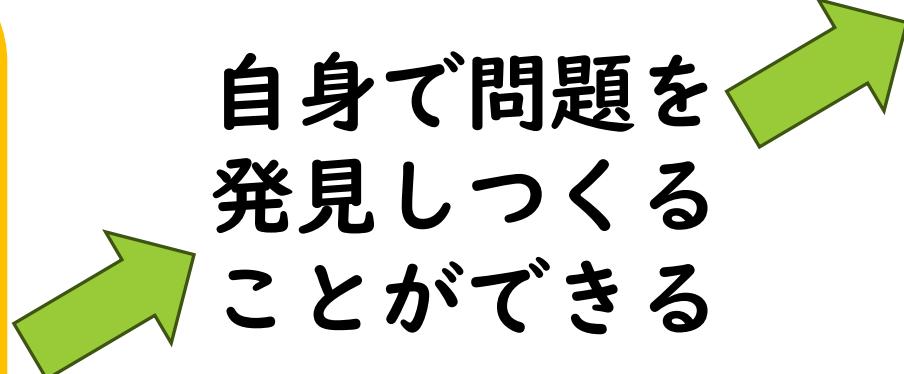
ゴール

自身で問題を発見し、  
解決に向けて学習を進  
めていくことができる

スタート

課題解決型の学  
習で進めること  
ができる

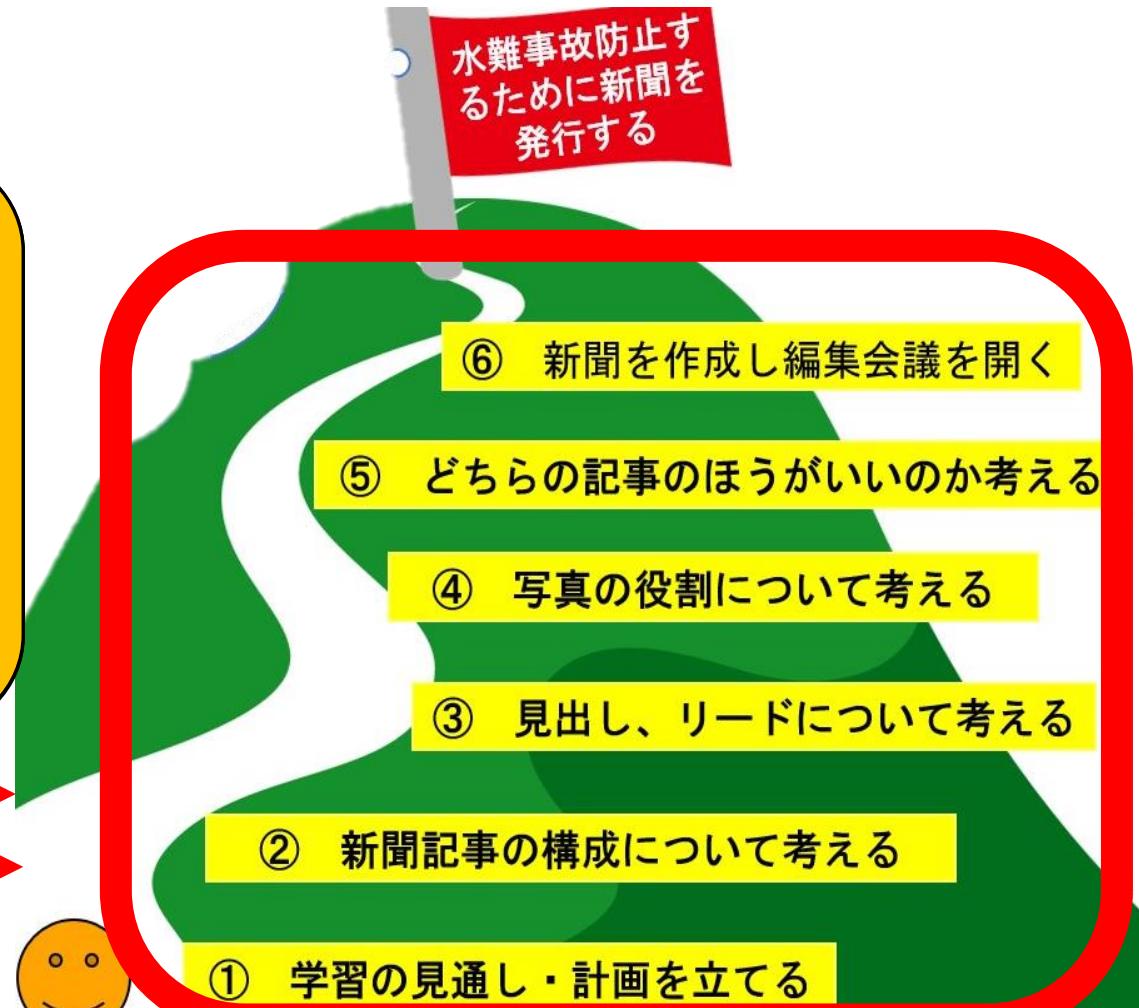
自身で問題を  
発見しつくる  
ことができる



## 実践例Ⅰ（学びの山の作成）

必要な学習

学習の順番



これまでに学習したこと 【表し方の違いを読み取る】

## 1. はじめに

## 2. 研究の概要

## 3. 実践の紹介

## 4. 研究のまとめ

筆者はどんな意図を新聞記事に書いて伝えているのか、伝えるための工夫は何なのかを考え読み取り、水難事故を防ぐための新聞を完成させる。

水難事故防止する  
ために新聞を  
発行する

**まとめ・表現**

**整理・分析**

**情報収集**

**課題の設定**

★★書き手の伝えたい意図は何だろう  
より伝わる新聞記事の構成とは何だろう



## 実践例 2(探究のサイクルを回す練習)

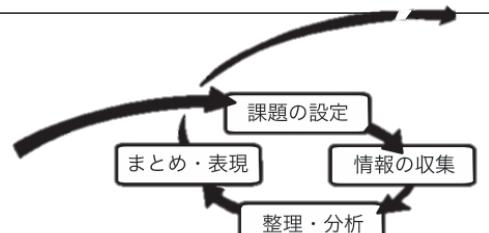
①



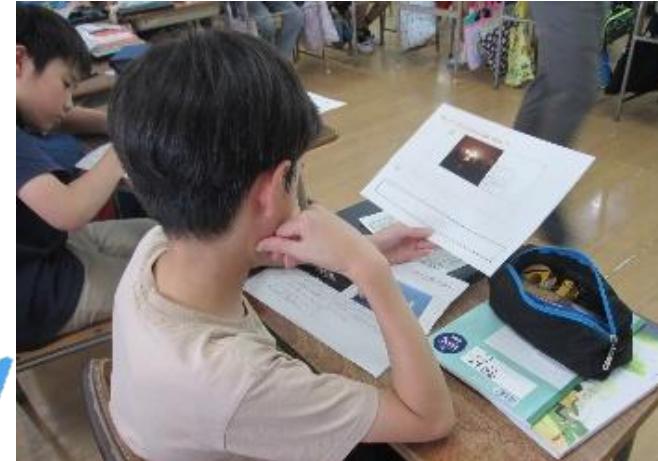
誰でもが解決できる課題



焦点化をし視点を持つ



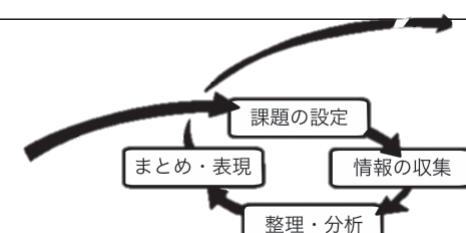
②



視点を用い応用的な課題



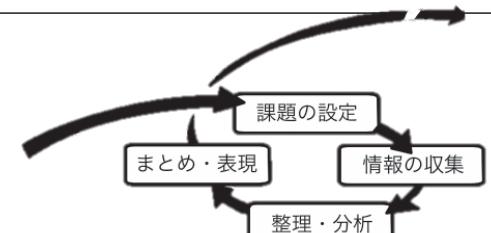
新たな視点の獲得



③



学んだ視点を用い自身の課題



## 実践例3（実践後の取り組み：大造じいさんとがん）

十三小学校

5年1組

2025年11月17日 発行

## 大造さん3度目の挑戦 ～おとり作戦～

# 「大造じいさんと ガン」新聞

一回目のうつぎつらめの作戦、二回目のターシマラまき作戦を試したが、残雪のために失敗してしまった大造さん。今度は、「一年前に生けたったガン」といっほん最初に飛び立つたものの後について飛ぶというガガの弱性を使い、おとりの作戦にてだ。果たして大造さんは、三度目の正直としつかずかしいことをができるのか？

しっかり準備をし、小屋の中でワクワクしながらも心を落ち着かせていた大造じいさん。が、いきなりハヤブサが大造さんのおとりのガンを攻撃。大造さんは、口笛を吹いてそのガンを呼んだが、ハヤブサには迷惑見えない。ハヤブサがまた攻撃をしかつて来た時、残雪がやつて来た。大造さんは残雪をねらったが、なんと銃を失してしまった。残雪は、救わなければならぬ時間のために命をかけてでも戦つたのだ。大造さんは、いかにも頭領らしい残雪の姿をみて、強く心を打たれたのであった。

発行者：  
古賀 舜平

### 編集後記

私はこの記事を書いていて大造さんは、市場になつた時、残雪のすばらしさ!! 野生動物のすばらしさを感じた。私達と一緒に進む暮らしがしていける生き物は敵がいる中で生き抜かなければならない。自分が一番はずだ。なのではなく、仲間を助けてようとする残雪の姿はとても勇敢で心に響く行動だと思った。

A

やっぱらハヤブサと戦っているとき、絶対仲間を救いたいという思いがあの目から伝わってきて感動したからだよ。

Q

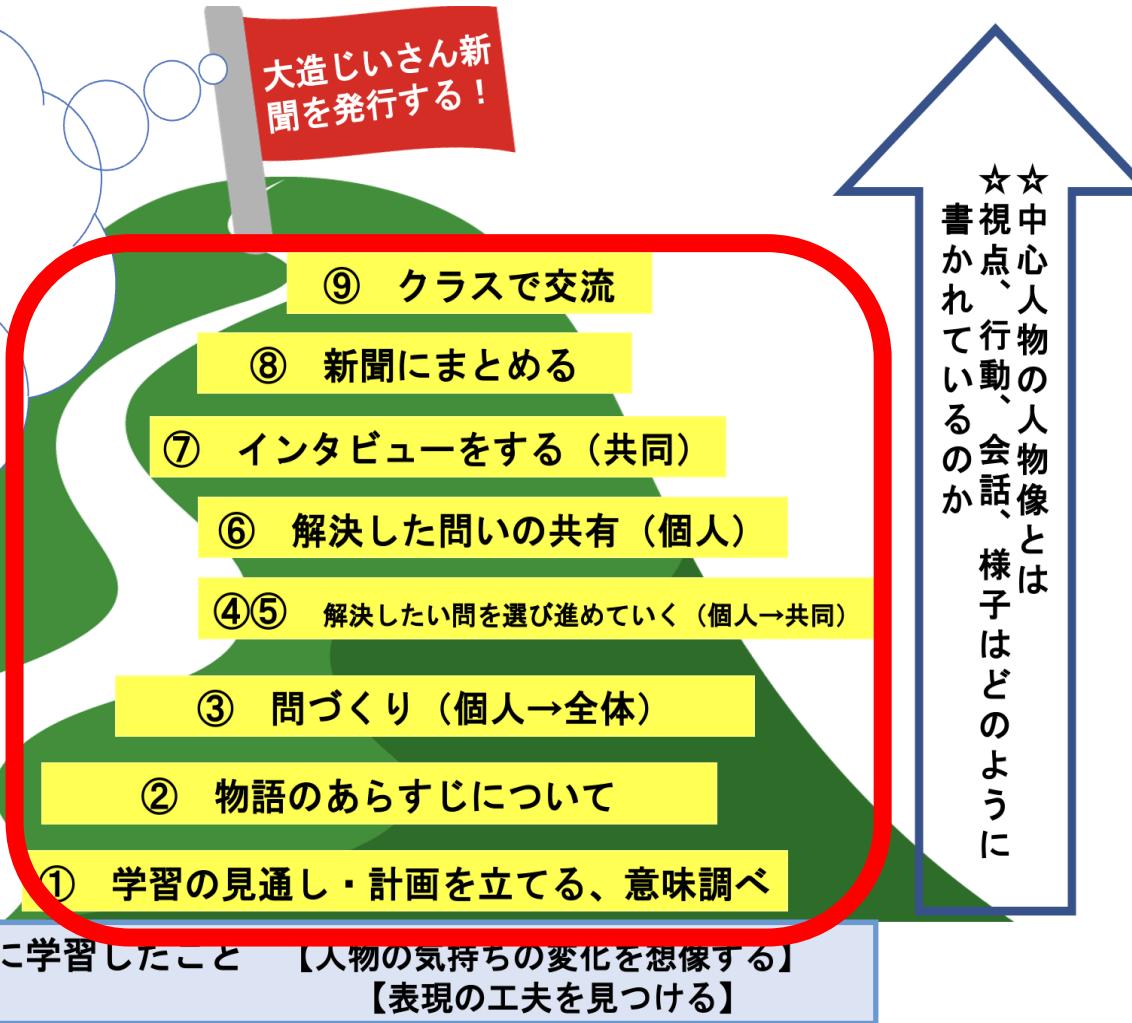
大造さん「にインタビュー」なぜあのとき、残雪をうてるチャンスだったのに統を下してしまったのですか？

インタビューコーナー

# 課題：大造じいさん新聞 を発行しよう！



「大造じいさんとガン」に書かれている、視点や行動、会話などの様子から大造じいさんの人物像や心情の変化、情景を読み取る。そして学習したことをもとにしで大造じいさんや作者にインタビューをし「大造じいさん新聞」を完成させる。



## 成果と課題

- ・ 課題解決の学習で、自分の**課題を見通して計画的に学ぶ力**が育ってきた。**主体的に取り組む姿も定着**している。今後は、他の教科でも探究のサイクルを生かし、自分で学びを進められるようしていく。
- ・ 課題解決型学習の定着により、**児童は探究サイクルを意識**して計画できるようになった。しかし、**自ら問題を発見する力**はまだ十分ではない。今後は課題解決型学習と並行して、問題発見型学習も取り入れる必要がある。

### 3 100周年グループ

#### 菜の花畠プロジェクト

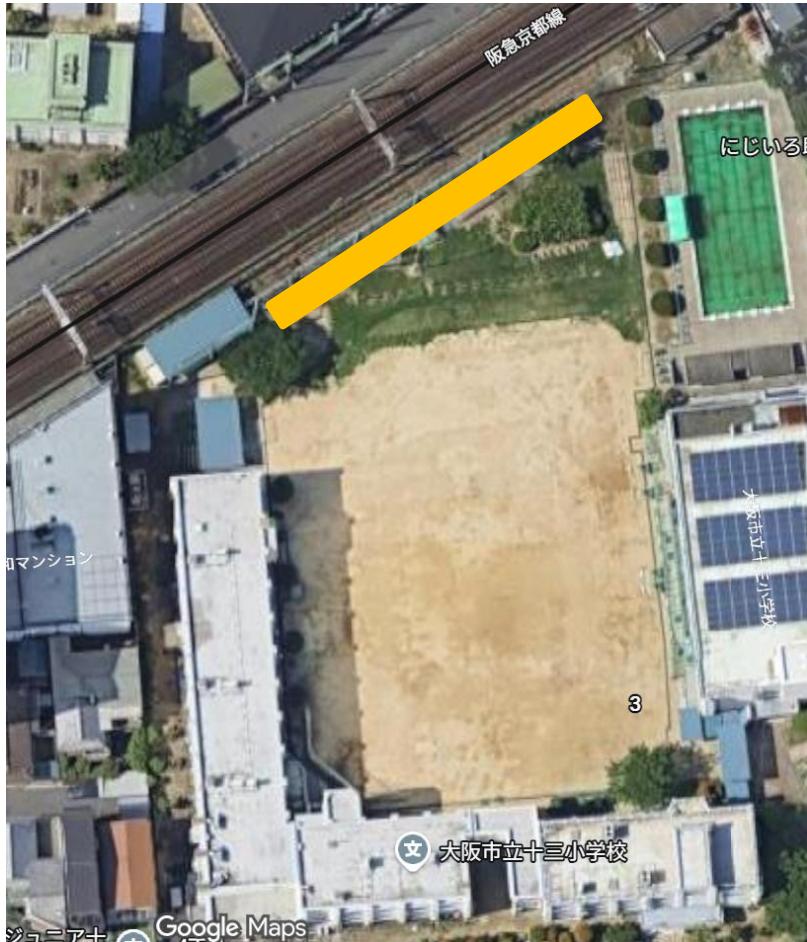
【仮説検証】

原動力(エネルギー・パワーなど)があれば、  
より探究的に  
物事を考えることができる。

生成AI(gemini)で作成したイメージ画像



# 100周年



**阪急電車の線路沿い**  
**約1a(1.5m × 60m)の学習園**  
**道行く地域の人や車内の乗客**  
**思わず振り返る**

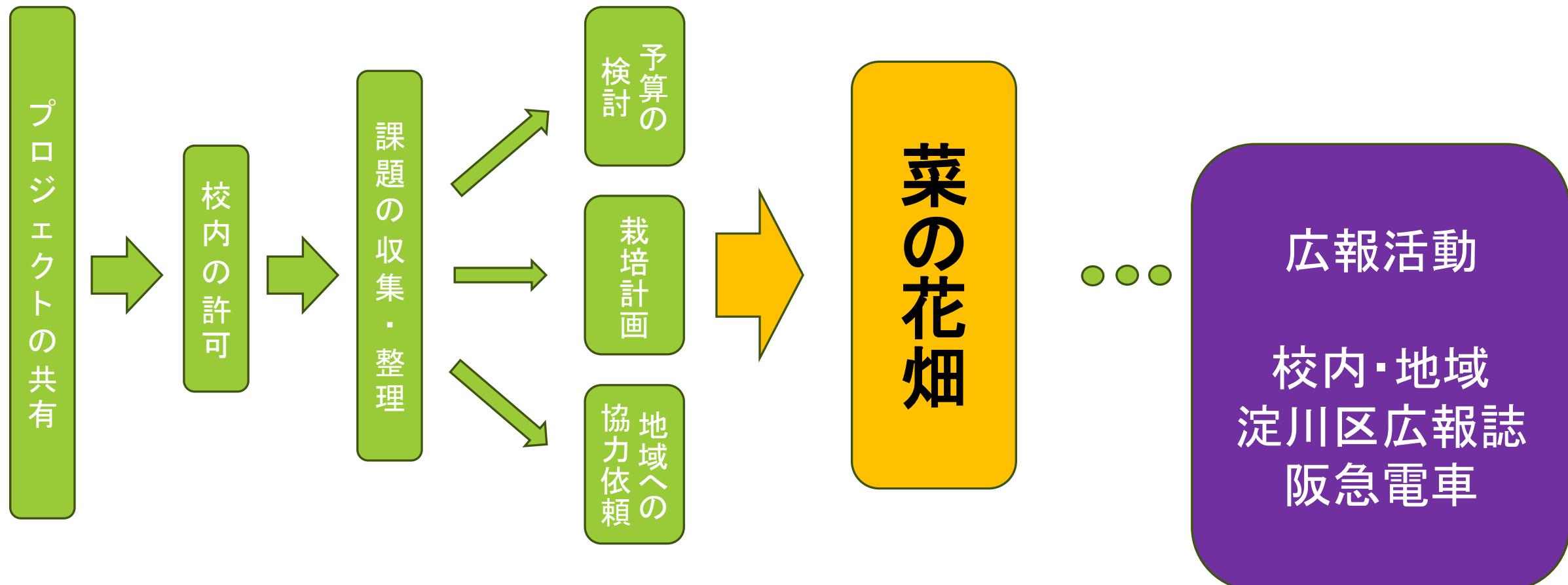
**黄色の帯**

## 1. はじめに

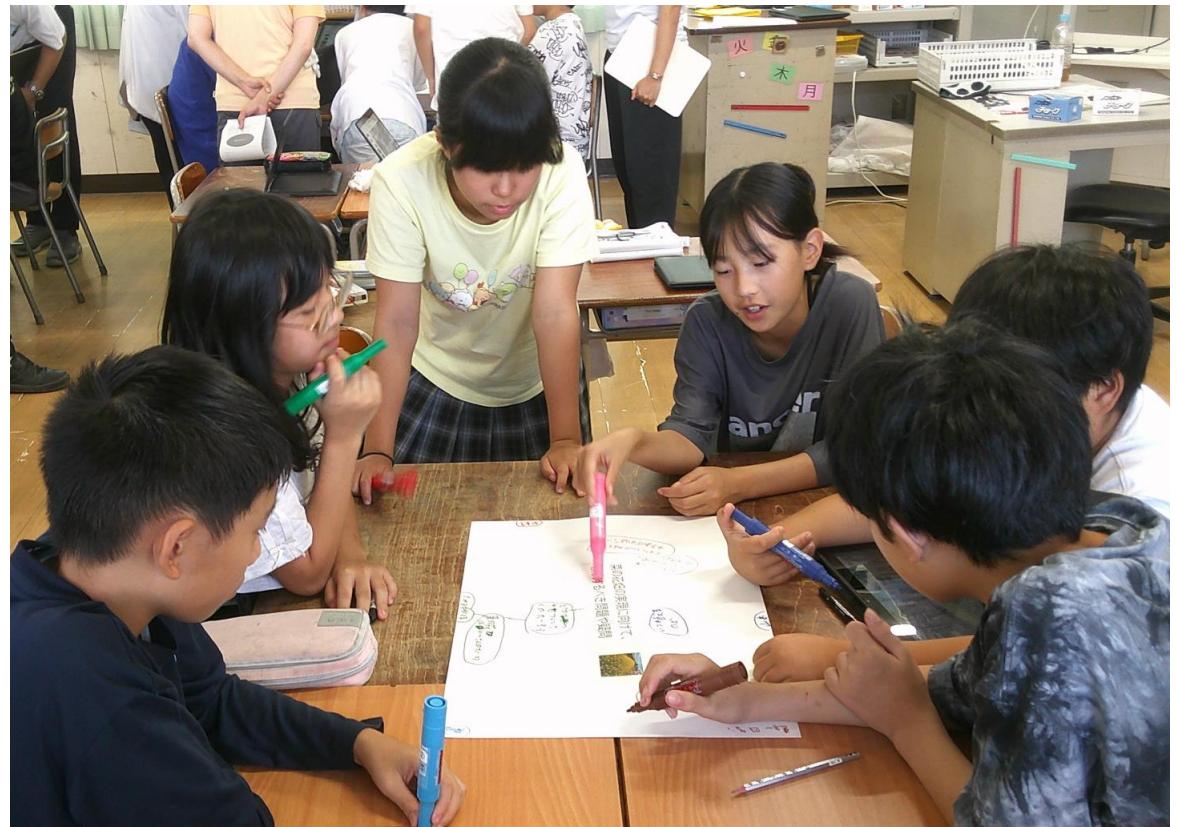
## 2. 研究の概要

## 3. 実践の紹介

## 4. 研究のまとめ



# 100周年



1. はじめに

2. 研究の概要

3. 実践の紹介

4. 研究のまとめ

# 100周年



1. はじめに

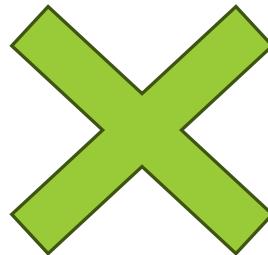
2. 研究の概要

3. 実践の紹介

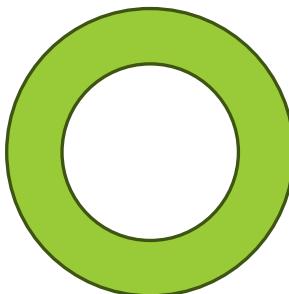
4. 研究のまとめ

# 100周年

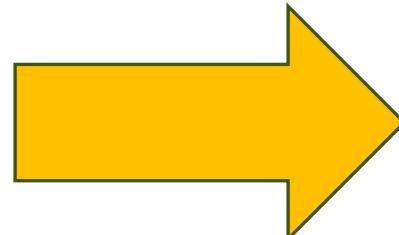
---



100周年のため



自分たちのため



探究的な学び

1. はじめに

2. 研究の概要

3. 実践の紹介

4. 研究のまとめ

# 研究のまとめ

---



## 研究のまとめ(学校アンケート)

国語, 算数, 社会, 理科の学習が分かる。

国語, 算数, 理科の学習が楽しい。

話合いで, 考えを広げ, 深めることができた。

社会の学習が楽しい。

肯定的回答回答70%以上

肯定的回答回答が  
80%以上



# 研究のまとめ(探究アンケート)

めあてを意識し、振り返ることができた。

調べ・まとめる学習に、進んで取り組めた。

分かりやすくまとめることができた。

話合いで、考えを広げ、深めることができた。

学習内容は、知りたい内容だった。

肯定的回答が90%以上



# 研究のまとめ(成果)

- 教師が学びの「伴走者」として、「共同探究者」の役割を果たすことで、児童が主体的に学びを深めることができた。
- 学習計画と一緒に立てることで、单元全体を見通して学習を進めることができた。また、1時間の学習の位置付けをして、学習に取り組むことができた。



## 研究のまとめ(成果)

- ICTを活用することで、調べたり協働的に学習したりすることができた。
- 「対話」を取り入れた授業づくりを行うことで、他者の考えを聞いたり、伝え合ったりして、考えを深めることができた。
- 教員自身が追究したい教科の指導に対する思いを尊重しながら、研究を進めることができた。(学び続ける姿勢)



## 研究のまとめ(課題)

- ・ 探究的な学びについて、手探りで進めている状況
- ・ 育成したい資質・能力から、カリキュラム・マネジメントを立案
- ・ ICTの効果的な活用方法
- ・ 「対話」を活かす、系統的な指導
- ・ 児童の考えの深まりの評価方法
- ・ 教員の専門性や指導教科の指導法の工夫
- ・ 児童・地域の実態に沿った、積極的な学校運営

令和7年度

# 児童が主体的に学びを創造する

—探究的な学びの視点を取り入れた授業づくり—

---

ご清聴ありがとうございました

---